

第8回 下水道における新たな PPP/PFI 事業の促進に向けた検討会 議 事 概 要

日 時 : 平成 29 年 1 月 31 日(水) 14:00~16:00
場 所 : PwC アドバイザリー合同会社 丸の内オフィス 21 階会議室
出席団体 : 配布座席表ご参照
資 料 : 配布資料ご参照 (資料 1~7)

議事

1. 開会
2. 挨拶
3. 出席者紹介
4. 議題
 - (1) 下水道分野における PPP/PFI を含む政府の最新動向
 - (2) 新規参加都市の紹介 (熊本市・宇都宮市)
 - (3) 民間資金等活用事業推進機構の発表
 - (4) 下水汚泥等資源の有効活用 (PFI) について (大阪市・黒部市・佐野市)
 - (5) その他
5. 閉会

【主な意見】

<民間資金等活用事業推進機構の発表>

- 官民 JV の出資割合は、議決権により異なり、1/3 が目安となるが、民間のノウハウを最大限重視するならば、できる限り官の出資を減らすべきである。
- 官民 JV の資本金については、特段目安がないものの、金融機関から見た場合には、ある程度の出資があった方が望ましい。

<下水汚泥等資源の有効活用 (PFI) について (大阪市・黒部市・佐野市) >

- 下水汚泥の有効利用事業については、バイオマスエネルギーの活用は多くの自治体で導入されている。
- 下水汚泥の有効利用事業では民間事業者からの提案を受けて、資源化の方法を検討することも考えられる。

<その他>

- 管路のリスクについては、一定のルール・金額を定め、事故等発生時などの取決めについて民間側の負担割合を決定する方法も考えられる。
- 処理場の改築・施設整備への PPP/PFI 手法の導入については、施設全体だけでなく、系列を分けるスキームも考えられる。